

強く要望したところであります。また同日、北海道議会にも同様な要請活動を致しております。

当町といたしましても、ホッカイドウ競馬の売り上げ増進を図るため、新冠町と新ひだか町の両町、農協、軽種馬振興会、軽種馬農協管内支所で組織した「ホッカイドウ競馬支援事業実行委員会」で様々な事業を展開しており、今後とも当実行委員会を始め管内の関係組織や主催者を含め一丸となった売上対策を積極的に進め、収支均衡の達成が図られるよう努めてまいります。

日高鳥獣被害防止対策広域協議会の設立について

当町はもとより、日高管内全域で年々増大するエゾシカなどによる農林業被害防止などについて、管内7町及び各町鳥獣被害防止協議会と社団法人北海道猟友会の各支部、日高振興局の関係機関が相互に連携を図り、その方策や具体的な対策を協議するため、去る9月9日に日高鳥獣被害防止対策広域協議会を設置したところであります。

この取り組みは、これまで各町それぞれでエゾシカなどの鳥獣被害対策を講じておりましたが、日高管内は温暖少雪で採草地等によりエサも十分確保されていることから、エゾシカにおいては、ここ数年、毎年1.5倍程度の増加を続け、その被害も平成21年度で約9億6千万円になるなど、ある意味災害に匹敵する規模にまで達し、このままでは、その強大な繁殖力により爆発的に増殖し、管内の主産業である農林業に壊滅的な被害をもたらすことが予想されることから、日高管内関係者が一丸

となつて、広域的に今以上に実のある効果を上げるため設立したものであります。

今後の取り組みとしては、1点目に管内一斉駆除に向けた検討、2点目に有害鳥獣駆除に係る報奨金の単価や確認手法の統一化の検討、3点目に囲い込み罠など効率的な捕獲方法や個体の有効活用事例等の先進地視察などを行い、次年度以降の取り組みに反映させることとしております。当町においても、この取り組みに積極的に参加し、農作物の鳥獣被害防止に取り組みで参りますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

農作物の生育状況と販売状況について

始めに町内の主な農作物の生育状況からご報告申し上げます。

先ず、町の基幹作物であります水稲ですが、北海道統計情報センターによる8月15日現在の道内の作柄状況は「平年並み」が見込まれております。

これは、穂数が6月上旬以降の高温による急速な生育によって、分けつ発生期間が短縮されたこと等により「少ない」となつたため、全もみ数も「少ない」ことが見込まれますが、登熟については7月中旬から8月上旬が高温に経過したことにより、もみの稔実が平年を上回ると見込まれることから「やや良」が見込まれていることから、全体では「平年並み」と見込まれております。

当町においては、去る8月26日、日高農業改良普及センターが実施した不稔調査において、圃場間における差は見られるものの、昨年より不稔が「少ない」ことが報告されております。

また、同普及センターによる9月1日現

待と関心の高さが伺えました。

「保育士の研修」では、今年度から認定子ども園となつた様似町の幼稚園での研修、昭和音楽大学の音楽を通した保育・教育活動への展開に繋げる実践研修を実施しております。

今後、9月30日までを期限に来年度の入園児を募集し、応募状況がまとまり次第、通園バスの路線決定のための地域説明会を開催する予定です。

社会教育の推進について

1点目は、社会教育委員の活動についてですが、社会教育事業の推進にあたって第6次社会教育中期計画づくりを進めており、12月の教育委員会に答申する予定となつております。

2点目は、文化、音楽事業に関わる取り組みについてであります。1つ目は、本年度も7月に北海道開拓の村において、出張レコードコンサートを実施し、レコードの魅力を多くの方々へ伝えましたが、北海道新聞には、そのことを取り上げ「レコードに夢を託して」新冠の20年と題した特集が掲載されました。

また、レ・コード館のホームページにおいて、金沢蓄音器館とのリンク施設として連携が出来るようになり、札幌市の石屋製菓と併せて、ネットワークづくりに努めているところ です。

3点目は、学社融合に関する取り組みについてであります。1つ目として、音楽教育事業に関する取り組みですが、昭和音楽大学との連携事業として、8月、新冠保育所において音楽療法を専門とする准教授による、音楽を媒介としたコミュニケーションについての授業を行いました。

在の牧草の状況については、一番草において晴天が続いたことにより生育が順調で降雨により収穫が遅れた圃場も見られましたが、平均収量は平年より多くなっております。二番草において生育は順調なもの、一時的な降雨により収穫作業の遅れが見られております。

また、飼料用とうもろこしについては、春先の低温、多雨による起耕作業の遅れによって、播種作業が遅れておりましたが、その後の高温と降雨により生育は順調で、登熟も進んでいると見込まれております。次に8月末現在における町農協取り扱いの農作物の販売状況について申し上げます。

9月以降の収穫となる水稲を除く総販売高は、前年対比5.2ポイント減の2億8,110万円、前年を下回る状況で推移しております。

主な要因としては、本町の農作物の中心となり、基幹作物として重要な作目であるピーマンにおいて、販売単価は前年より高い水準で推移しているところですが、春先の低温が生育に影響したことや夏場の高温により花落ちが見られたことなどから反収が前年比10.7ポイント減で推移しており販売金額において、前年より5.6ポイント、1,196万円減少していることが挙げられます。

教育長行政報告

学校教育の推進について

学校教育についてですが、まず特別支援教育についてであります。

9月には、5年目になる「新冠町特別支

2つ目は、夏休み特別企画として、放課後子ども教室では、青年の家において、手作りスピーカー制作の体験活動、8月4日・5日には、少年アドベンチャーランド

事業、サイクリングキャンプを開催し、若園地区でキャンプを中心とした自然体験や、目的地まで自転車での往復など、子ども会と高校生ボランティアの協力を得ながら実施しました。

図書プラザでは、「新冠の昆虫たち」と題し、昆虫の観察コーナーの設置や、標本の作り方などのパネル、そして、郷土資料館で所蔵する昆虫の標本や、探検環境クラブの事業で行った昆虫採集の報告資料の展示も行い、夏休み期間中の子ども居場所づくりと、読書推進に努めたところであります。

なお、青年団体連絡会議で企画した「ふるさと盆踊り」が今年度、口蹄疫流入防止のため、中止となりましたが、秋以降に多くの町民が楽しめる事業をしたいとの計画を持つております。

4点目は、社会体育事業に関わる取り組みについてであります。8月29日に「チャレンジスポーツインにかっぱ」を本年度も行い、北海道マラソンに挑戦と題したイベントと、小学校を対象とした陸上記録会を開催しました。今年度は80名の参加があり、マラソン大会の記録を上回りました。来年度の記念事業の拡大を図りたいと考えているところです。

条

例

●過疎地域の指定に伴う固定資産税の課税の特例に関する条例

援教育連携協議会を開催し、関係機関による協議と交流、平取養護学校長による「特別支援教育の現状と課題」についての研修をし、一層の連携強化を図るとともに、8月には北海道立特別支援教育センターにおいて、参事・特別支援教育支援員2名の研修を行いました。

2点目は、4月に実施された全国学力・学習状況調査についてであります。今年度は、新冠町につきまして、希望利用で実施をいたしました。その結果につきましては、全国抽出調査に係る速報値のみが北海道教育委員会より発表されており、今後の新冠町の状況についてあらためてご報告させていただきます。

3点目は、豊かな心身の育成についてであります。1つ目は、北海道中学校体育大会には、剣道女子個人戦、柔道女子団体及び男子女子各個人戦に出場しました。また、7月には室蘭市で行われた日胆地区吹奏楽コンクールに、新冠中学校吹奏楽部が中学校B編成の部で出場し、銀賞となりました。

2つ目は、学校プールの開設についてであります。夏休み期間中も子どもたちの居場所、スポーツ、体力の強化の場として学校プールを利用できるように、4台のスクールバスを火、木、土曜日の週3回、午後1時から3時までの利用のために、運行いたしました。

社会教育では、7月、10日間の日程で小学1年生26名を対象としたジュニア水泳教室を開催しました。9月にはスイミングフェスティバルにおいて、記録会や玉入れなどを行ったところです。

3つ目は、子どもの健全育成についてであります。7月23日に、子どもの健全育成

指定管理者の指定

①新冠温泉レ・コードの湯

【指定管理者となる団体名及び指定期間】
新冠郡新冠町字西泊津16番地の3
株式会社新冠ヒルズ

代表取締役 小竹 國昭
平成22年10月1日～平成25年9月30日

②新冠町西泊津ヒルズパーク

【指定管理者となる団体名及び指定期間】
新冠郡新冠町字西泊津16番地の3
株式会社新冠ヒルズ

代表取締役 小竹 國昭
平成22年10月1日～平成25年9月30日

③にかっぱホロシリ乗馬クラブ

【指定管理者となる団体名及び指定期間】
新冠郡新冠町字節婦町71番地の11
有限会社にかっぱホロシリ乗馬クラブ

④道の駅「サラブレッドロード新冠」

【指定管理者となる団体名及び指定期間】
新冠郡新冠町字節婦町71番地の11
有限会社にかっぱホロシリ乗馬クラブ

代表取締役 村田 邦洋
平成22年10月1日～平成25年9月30日